

令和7年度（2025年度）飯山市美術館運営協議会（第2回）

日時 令和8年（2026年）2月17日（火）15:30～

場所 飯山市公民館 101 会議室

1 開 会

2 辞令交付

3 あいさつ

- ・明石洋一 美術館運営協議会長
- ・山田晃 教育長

4 協議事項

- （1）令和7年度（2025年度）事業報告について
- （2）令和8年度（2026年度）事業計画（案）について
- （3）令和9年度（2027年度）以降の企画展等の予定について
- （4）入館料の改定（案）について
- （5）その他

5 そ の 他

6 閉 会

○飯山市美術館運営協議会規則

平成9年3月21日教育委員会規則第3号

改正

平成18年2月20日教委規則第1号

平成20年3月24日教委規則第2号

平成27年3月31日教委規則第4号

飯山市美術館運営協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、飯山市伝統産業会館条例（昭和57年飯山市条例第22号）第19条に定める飯山市美術館運営協議会（以下「協議会」という。）の委員の定数、任期その他必要な事項を定めるものとする。

(定数)

第2条 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

(任命)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識者から教育委員会が委嘱し、又は任命する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第5条 協議会に会長を置き、委員が互選する。

2 会長が会務を総理する。

3 会長が事故あるときは、あらかじめ会長が指名した委員がその職務を代理する。

(協議会)

第6条 協議会は、美術館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対し意見を述べることができる。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成18年2月20日教委規則第1号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月24日教委規則第2号）

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第1条の改正規定は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月31日教委規則第4号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

令和7年度（2025年度）飯山市美術館運営協議会委員 名簿

飯山市美術館運営協議会委員 名簿（敬称略）

	氏 名 等	備考（推薦団体等）
1	明石 洋一（会長）	飯山仏壇事業協同組合
2	阿部 拓也（職務代理）	内山紙協同組合
3	浅野井 さおり	飯山市校長会
4	吉田 正紀	飯山市芸術文化協会
5	沼田 文恵	飯山市芸術文化協会
6	佐藤 環	学識経験者
7	星野 秀樹	学識経験者
8	置塩 ゆかり	学識経験者
9	小坂 晶子	社会教育委員会

※女性委員比率 56%

任期：令和9年（2027年）4月30日まで

教育委員会関係者

1	山田 晃	教育長
2	島崎 紀明	文化振興部長
3	井端 伸介	文化交流課長(兼)美術館長(兼)美術館係長(兼)学芸員
4	木村 友子	会計年度任用職員
5	木村 直子	会計年度任用職員

	事業名	内容・効果等	期間・会場等	入館者数等
常設展示	コレクション展(前期)	飯山市出身あるいはゆかりの芸術家で、これまで企画展を開催した画家の作品を中心に展示。 美術館収蔵品60～70点を展示した。 作家名等:長谷川青澄(日本画)・宮澤鉄夫(日本画)・相原求一郎(油絵)・駒村久彌(油絵)・岩上隆静(水彩)・齋藤一郎(和紙作品)・小林起一(コンセプチュアルアート)	R7.4.1～R7.4.17 R7.4.22～R7.5.28	入場者数:269人
	コレクション展(後期)		R7.11.29～R8.3.31	入場者数:220人
企画展	冬耳(ふゆじ) —この惑星(ほし)のうつわ—	市内瑞穂地区在住の画家、冬耳氏(1976～、本名:中川健、R5に京都から移住)の個展を開催。活動初期から現在まで約25年間に制作された中から代表作50点を紹介。「人と自然の共生」をテーマに描かれた抽象具象を横断する作品群は、専門家から高い評価を受けているだけでなく、市内外からの一般来館者からも世代を問わず好評を得た。 また、関連イベントとして、7/5に冬耳氏、松村咲希氏(野沢温泉村出身京都府在住の画家)、伊多波麻衣子氏(八戸ポータルミュージアム学芸員)ら3名によるトークショーを開催。約70名の参加があり、質問や感想が多く出されるなど盛り上がった。 市バスを活用した企画展鑑賞は、城南城北中学校及び飯山高校から19クラス555名が来館。来館時は冬耳氏と美術館長が対応し子どもたちの質問に答えるなど交流した。	R7.6.7～R7.8.31 開館日数:75日 会場:展示室・ロビー	入場者数:1929人 ※うち有料681人
	思い出の学校展 —今、よみがえるあの日の記憶— ※ふるさと館と共同開催	城北小学校開校を記念し、統合した4小学校に展示されていた絵画や、授業や行事で使われた教材・備品の展示をはじめ、市内全域から寄せられた小学校時代の思い出123件をパネル展示した。 また、信濃教育博物館に永年保存されている子ども絵画152点(旧閉校4小学校をS59からR5に卒業した子どもの作品)を借用展示した。誰もが子ども時代を懐かしみながら世代を超えて交流できる場として楽しんでいただいた。	R7.9.6～R7.11.24 開館日数:69日 会場:展示室・ロビー 公民館ギャラリー	入場者数:2327人 ※うち有料831人
ギャラリー展	岩本彩花版画展 —観測・窓から見える—	岩本彩花(1997～、和歌山市出身長野市在住)の版画作品20点を展示。作家の心の中に思い描いた風景やイメージ・穏やかさが感じ取られる版画展となった。	R7.9.6～R7.10.13 会場:2Fギャラリー	入場者数:1521人 ※うち有料482人
	北信濃伝統工芸展	市の伝統工芸である飯山仏壇の製作に携わる伝統工芸(彫刻・蒔絵・彫金)の他、内山紙、小沼箒、野沢あけびつる細工、山ノ内竹細工等の北信濃を代表する工芸品を展示。また、期間中有料の体験教室も開催した。	R7.10.15～R7.11.9 会場:2Fギャラリー	入場者数:538人 ※うち有料178人
美術教室	夏休み体験教室	企画展開催中の作家・冬耳展の作家によるワークショップ「木のかけらで動物を作ろう」を開催。いろいろな形の木のかけらを組合せて動物など制作した。	R7.8.5 会場:公民館101	参加者数 小学生 19人

	事業名	内容・効果等	期間・会場等	入館者数等
ワークショップ等	企画展関連ワークショップ	閉校した4小学校のプレス機を使って、「思い出の版画づくり(テーマ:思い出のお裾分け)」を開催。版画家・ギャラリー展開催中の作家・岩本彩花氏を講師として銅版画を制作した。	R7.9.13、10.4 会場 美術館ロビー	参加者数 12人
	春休み体験教室	画家で美術教育の専門家の木俣創志氏を講師に招き、「立体絵の具で絵を描こう」を開催予定。	R8.3.25 会場:公民館講堂	参加者数 小学生以上、定員15名
その他	公民館内市民ギャラリー	市内で活動しているグループや個人の作品発表を支援した。図書館入口ガラスケース:1グループ、3個人 公民館廊下:6グループ	随時	
	作品等の寄付受入	長谷川青澄作品1点(長野市在住の個人から) 作品名は不明、S20頃に制作された同画家の初期の貴重な作品を収蔵できた。	R8.1.27 寄付採納承認 2/19受け取り予定	

令和8年度（2026年度）事業計画（案）

1 コレクション展

内容： 飯山市出身あるいはゆかりの美術家及び企画展を開催した美術家の作品を中心に収蔵品展を行う。美術館収蔵品及び借用作品を合わせて60～70点を展示する。

期間：①令和8年（2026年）4月1日（水）～4月7日（火）

※展示内容は令和7年（2025年）11月29日から継続

※4/11日（土）・4/12（日）の二日間は飯山市民芸術祭（展示部門）の会場として使用

②令和8年（2026年）11月28日（土）～令和9年（2027年）3月31日（水）

※展示内容は令和9年（2027年）4月中頃まで継続

2 企画展開催事業

（1）企画展『藤岡牧夫絵本原画展 やさしい光に つつまれて』

期間： 令和8年（2026年）4月18日（土）～7月5日（日）

開催概要：資料参照

（2）企画展『（仮称）佐々木晴香展』

期間： 令和8年（2026年）7月18日（土）～11月23日（月・祝）

開催概要：資料参照

3 ギャラリー展等

市出身あるいはゆかりがあるかどうかには固執せず、市外の作家も積極的に紹介し、施設（ロビー及び2階ギャラリー）の有効利用を図る。

（1）『北信濃伝統工芸展』（2階ギャラリー）

※4月中頃～6月上旬頃の期間中に開催するか否か検討中。

（2）登録社会教育団体等から利用希望があれば随時検討する。

4 市バスを活用した企画展鑑賞

市内の小中学校・高校及び下高井農林高校の児童生徒たちの美術作品の鑑賞機会を増やす取り組みとして、授業や部活動で企画展を鑑賞する場合は、美術館で市バスを手配して児童生徒の送迎を行う。また、来館した子どもたちと作家が交流する場を可能な限り設ける。

5 ワークショップ・美術教室等

美術を身近に感じ、楽しむためのワークショップ・美術教室を開催する。

(1) 企画展関連イベント

企画展開催時は作家本人によるに作品説明やワークショップが開催できるよう調整を図る。

(2) 夏休み・春休み体験教室

飯山市公民館主催の小中学生を対象とした夏休み・春休み体験教室において、美術・図工関連の講座を担当予定。

6 施設整備等

(1) 飯山市伝統産業会館・美術館の冷暖房機（室外機）のオーバーホール

3系統ある室外機について、故障の有無に関係なく、すべての部品交換を複数年かけて行う予定であったが、冷暖房機の専門家と相談した結果、故障した場合に修繕交換等を行うよう方針を変更した。

（理由）現在の冷暖房機は使用開始（2011年12月）から14年以上が経過していることから、室外機だけでなく、冷暖房機全体の更新を検討していくこととした。

(2) 当面の主な課題

- ・2階ギャラリーエアコン更新（現在停止中） ※R8予算に要求
- ・エレベーター修繕（作動油交換等） ※R8予算に要求
- ・ロビー窓へのブラインド設置 ※R8予算に要求
- ・ロビー窓外枠コーキング ※R8予算に要求

《以下は、※R9以降予算要求予定》

- ・五郷研修館保管先の移動先整備
- ・美術館作品展示壁面の更新（1997年から約29年間使用）
- ・エレベーター更新（1997年設置から約29年間使用、耐用年数25年を超過）
- ・五郷研修館（旧五郷分校）の除却（1971年開校、1987年閉校、閉校後39年経過）
- ・伝統産業会館美術館施設全体の冷暖房機の更新（2012年設置、使用開始14年目）

7 その他

(1) 広報活動について

- ・ 広報飯山、i ネット、防災無線放送を活用した美術館情報の発信等
- ・ SNS(インスタグラム)を活用した情報発信

(2) 市民ギャラリーの有効活用について

公民館の廊下壁面などを市民ギャラリーと位置付け、市民から作品展示の希望を美術館で受け付けており、今後も市報やi ネットなどで利用を呼びかける。

(市民ギャラリーとして使用している場所)

- ・ 公民館1階廊下の壁面
- ・ 公民館階段の壁面
- ・ 図書館の公民館側入口のガラスケース

(3) 五郷研修館(旧五郷分校)の今後の取り扱いについて

五郷研修館は、かつて、県外在住美術家がアトリエとして利用するなどしてきたが、老朽化が著しいため、今後は除却に向けた準備を進める。

- ① 昨年(2025年)中に県外在住美術家(4名)のアトリエ及び作品の撤収を完了。
- ② 今年度は、年末までに五郷研修館に保管中の美術館の収蔵資料を閉校小学校(現在、岡山小学校で調整中)へ移動する。ふるさと館所蔵資料も同様。

令和9年度（2027年度）以降の企画展等の予定について

郷土出身あるいはゆかりのある美術家等の企画展開催を基本とするが、飯山市で紹介することがふさわしいテーマや作品による企画展を検討する。

<p>令和9年度 (2027年度)</p>	<p>『(仮称) こもれび』展 を検討中</p>	<p>一つのテーマを決めて、それに因んだ作品を制作している作家たちのグループ展を検討中。現在、飯山市を特徴づける山、鍋倉山から着想を得たテーマ「こもれび」にふさわしい現代美術家や作品を研究中。</p>
<p>令和10年度 (2028年度)</p>	<p>市出身または在住の 美術家の個展2企画 を検討中</p>	<p>① 国画会(国展)会員の画家・青木勇治氏(0000～、飯山市出身長野市在住)の個展を検討中。 ② 数年前に飯山市に移住した現代美術家・RIA氏(本名:高山りえ)の絵画や映像、パフォーマンスによる個展を検討中。</p>
<p>令和11年度 (2029年度)</p>	<p>検討中</p>	<p>令和9年度と同様に一つのテーマを決めて、それに因んだ作品を制作している作家たちのグループ展を検討予定。</p>